

実、用 新 衆 登 録 願(3)♥をラなし

(1500['])

明日华7年 6 月 3

特許庁長官 井 土 武 久 殿 考案の名称 センタニュルマ

考案者

ハママツ シ シンパシチョウ

**静岡県浜松市新橋町/230** 

Aか1 ヤマ ユゥ 向 山 毎

(ほか /名)

3. 用新客登録出願人

等周県鉄名都可美村高塚300番地 (208) 鈴木自動車工業株式会社 代表者 鈴 木 使 \*\*

代 理 人(新便市分100)

東京都千代田に丸の内に手目2番3号

電話中京(211)2321 八代表

4230 弁理七 猪

股

清

(ほか 2名)

49-25914-01

47 069750

#### 劉 組 曹

# 考案の名称 タンクキャップ

## 奥用新楽登録請求の範囲

キャップボデーの下部に両側に突散したストッパを設け、欧ストッパの両端を住入口の切欠きに 嵌合し、キャップボデーを振つて注入口内面下端 にストッパの両端を係合させて糖付けるタンクキャップに於て、欧ストッパの両端に下側に折曲げ た廷長郎を設けたことを特徴とするタンクキャップ。

### 考案の詳細な説明

との考案は、自動車の燃料タンク等のタンクキャップの行具合を明視できるようにして、飲ギャップの締めを確実に行うことのできるようにしたタンクキャップに関する。

自動車の燃料タンク等のタンクキャップには、 オ/図に示すように、キャップボデー / の下部に 両側に両端が突出したストッパュを設け、とのス トッパるを注入口3の切欠きゃに飲合せ、キャップボデー!を扱つてストッパるの両端を注入口3の内面下端3のテーパ部に係合させて、キャップボデー!を注入口3に確付ける形式のタンクギャップが用いられている。なお、6は弾性シールで、注入口3の端面に当つて完全にシールするものである。

ところで、この形式のタンクギャップは、ストッパュの両端を注入口3の内面下端3に確実に係合させなければならないが、急いで締付けたり、タンクギャップを持つた位置が思かつたりすると、オコとは、はの片側は高入口3の端面に乗つたままで締付けられる。この状態だと、ストッパュの住て、点料等の内容物が満出し危険である。しかも、ギャップボデー!の住入口3に対する傾きが大きくないため、確実に確つてないことに気がつかない。

との考案は、かかる点に鑑み、前記のように順 けて取付けた場合、正常でないことが一見して目 ノ字画側

視できるようにして、との程事故を未然に妨ぐようにしたものである。以下本考案を才3図に示す実施例によつて説明する。ストッパュの両端に下傾に折曲げた延長部7を設け、その他は前述のキャップ及び注入口と同一に構成する。しかして、とれを図示のように延長部7の一方を注入口3の増固に乗り上げた間違つた状態で締付けた場合は、延長部7の分だけキャップボデー/が注入口3に対して余分に傾き、一見して傾けて収付けたことがよく刊る。従つてキャップの締直しを行い、前述のような学故が未然に妨げる。

以上説明したように、この考案は、キヤップポデーの下部に両側に突散したストッパを設け、政ストッパの両端を注入口の切欠をに嵌合し、キヤップボデーを振つて注入口内面下端にストッパの両端を行けるメンクキャップに於て、該ストッパの両端に下側に折曲げた延長部を設けたので、キャップボデーを傾けて間違つて続付けた場合は、その傾きが大きく一見して間違いが判り、不確実を確めによる内容物の適出を防止でき、

引火等の危険を未然に防ぐ効果を有する。また、 その構成もストッパの両端に下倒に折曲げた延長 部を設けるだけで構造が簡単で故障等の起ること がなく、従来のものにない効果を有する。

#### 図面の簡単な説明

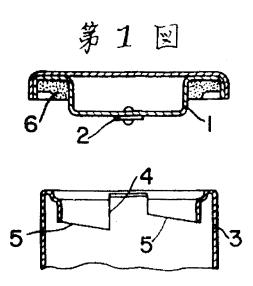
オノ図及びオ2図は従来例を示す縦断面図、オ 3図は本案の実施例を示す縦断面図である。

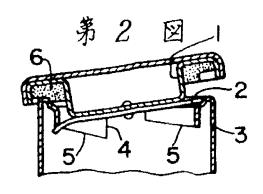
/ …キャップボデー、2…ストッパ、3…在入口、4…切欠き、5…内面下端、7…延長部。

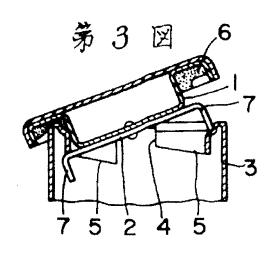
出願人代理人 着 股 演

**一 佐藤勇**吉

富 賀 英一郎







添附書類の目録

(1) 明 細 書

1 通

(2) | | | | | | | illi

1 逋

(3) 委 任 状

1 通

的記以外の考案者、実用新案登録出願入または代理人

カメ 水 筹 和

代理人(郵便番号100)

東京都手代田区丸の内田丁目2番3号。

弁理士: 佐藤 3202

勇 11

[ci] Ħi

> 6962 11

14 所

hij

49-25914-07